

開校78年 かわやぎちゅう



川柳中だより

学校教育目標『賢く・優しく・逞しく』

令和6年12月2日発行

草加市立川柳中学校

〒340-0002 草加市青柳7-35-1

TEL 048(931)5827

soka-stm.ed.jp/kawayagi-jh/

「ふり返し(Reflection)」の大切さ

校長 金塚 和美

季節外れの暖かい日もありますが、日に日に寒くなっています。朝晩の気温差が大きく、空気も乾燥していきます。感染症予防に努めていきましょう。

さて、今年も残すところ1か月となりました。学校では学期が終わるころに「ふり返し」を行います。授業の最後にも行う「ふり返し」ですが、「反省」と「ふり返し」は何が違うのでしょうか。「反省」はミスや失敗に焦点を当て理由や原因を探って、より良い方向へ変えていくことです。「ふり返し」はミスや失敗だけでなく、うまくいったことも含めて自分の考えや行動を見直し、そこから次のステップを決め、実践していくことになります。そのため、何かを行った後にはふり返しをするのです。

効果的な「ふり返りの方法」にKPT法があります。KPTはそれぞれ、Keep [よい取り組みを継続する]、Problem [問題点をあげる]、Try [良い点と問題点をもとに、次にやってみたいことを考える]を意味しています。続けることで、効率よく効果を発揮し成長することができます。個人での活用のほかに、チームでふり返しを行うことで、自己理解、他者理解も深まり、チームも成長できます。

何かがうまくいっていないときに立ち止まってふり返ることは多いと思います。では、日常的に行ったらどうなるでしょう。これは、ある会社のコールセンターの研修で行われた実験です。「A：1日の終わりに15分間、その日の学びをメモを取りながらふり返し、仲間に説明する」「B：その日に学んだことをメモしたり、仲間に説明したりしない」。AとBのグループを比較したところ、AはBより25%も良い成績を収めたそうです。今の学習指導要領では、授業での対話やふり返りが重視されるようになりました。日常的にふり返しを行う習慣をつけることで、確かな学力、生きる力の向上につながっていくためです。

今年度の埼玉県学力学習状況調査では、学力を伸ばした生徒の割合が3年生でも高い結果となりました。これまでの学習で「ふり返し」にもしっかり取り組んだ成果が表れています。本校ではこれからも「ふり返し」を大切に、教育活動を行っていきたいと思います。